

社会福祉法人 アス・ライフ

発行日 H23. 4. 1

伝書鳩



2011 4月号

TEL 083-941-5656

FAX 083-941-5655

E-mail: swc-us@wit.ocn.ne.jp

平成23年度を迎えて！！

一年が達つのは早いもので、あっ！ という間に新しい事業年度を迎えました。

皆様には、常日頃より特別なご高配を賜り感謝を申し上げます。

卒業したばかりの新しい利用者さん達を迎い入れるたびに、子どもたちの新しい人生がスタートするのだと思うと毎年のことながら身が引き締まる思いを抱いています。

社会福祉法人としては2年目ですが、平成16年8月にNPO法人として設立してから7年目を迎えています。

設立当初は右も左も判らず、ただガムシャラに利用者さん達に、ある時は親の目線で、ある時は先輩として、またある時は同じ障害者として接してきました。

当施設に見学に来て頂いた方々から、利用者の皆さんが生き生きして、明るい顔をして、活気があるという言葉頂いた時には大変うれしい気持ちになります。

さまざまな経験を積むことで遅く成長していき、その体験が自立に繋がり、そして豊かな人生に繋がっていくという当初からの信念を忘れることなく、今年度も職員一同頑張っていきたいと思えます。

さて、今年度県内で開催される第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ山口大会」まであと半年となってきました。

当利用者さん達もフライングディスク、車椅子スラローム、ビンバグ投げなどの競技に取り組んで大会の出場を目指しています。

今年度は、地元開催の大会に一人でも多くの利用者さん達が参加出来るように応援していき、大会を通して全国から来た選手達と温かい交流を図って、友達の輪を広げて行って欲しいなと願っています。また、参加出来なかった人も選手を応援して、皆で楽しい思い出になるようにお手伝いしていきたいと思えます。

職員共々、今後とも引き続き、ご指導、ご支援のほど宜しくお願いいたします。



理事長 藤田 英二

東日本大震災義援金を受け付けています。

東北地方で発生した大地震に遭われた方々の心情を察すると大変心が痛みます。

当法人でも、県身体障害者団体連合会主催の義援金を受け付けています。

ぜひ皆様のご協力をお願い致します。



福祉サービス制度の紹介

○今回は移動支援サービスを紹介いたします。

すでに利用されておられる方も沢山おられますが、個人的には障害者サービスの中では最も利用者さんのニーズに合ったサービスだと思っています。

様々な余暇活動 例えば、映画に行きたい。友達に会いに行きたい。墓参りに行きたい。ショッピングに行きたい。イベントに参加したい。などの思いを抱いた外出介護を移動従事者（ガイドヘルパー）さんが支援してくれるサービスです。

但し、電車・タクシー代などの旅費、及びイベント入場料や映画チケット代、或いは懇親会などの経費は原則利用者さんが従事者分も負担することになりますので、利用目的によっては、そういった経費がかかる場合があります。

利用出来る方は市町村での受給資格申請で認可が必要になります。当法人も設立時から毎年、視覚障害者・全身性障害者の移動従事者（ガイドヘルパー）研修を行っており、今までに233名の従事者を育成してきました。



最新の機械浴槽を設置しました。

○ジャグジー付の浴槽ですよ！

マッサージ効果で血行も増進
疲れも癒してくれます。



○電動昇降リクライニング車椅子です！

浴槽自体も上下しますので
利用者さんにも職員にも
優しい浴槽ですよ。



このたび、障害者自立支援整備事業の補助金を頂き念願の機械浴槽を設置しました。より良い支援が提供することが出来ます。ありがとうございました。

徳原さん二冠達成！！

去年7月に横浜で開催されました日本ポッチャ選手権に続いて、今年1月に開催された Japan cup でも優勝されました。日頃の努力の結果だと思えます。これからも、どんどん記録を伸ばして行って下さい。



トクちゃん。おめでとう！！

今回は～フォア・アスの歩み～を紹介します

フォア・アスが開所したのは、平成20年4月1日で、あれから丸3年が過ぎました。山口市内を中心に、小学校、中学校、特別支援学校の児童生徒が放課後や土曜日、長期休業中に当事業所を利用し、子育て支援事業の一翼を担ってきました。

子供たちが、一日の生活サイクルのうち、学校生活と家庭生活の橋渡しの機能を果たしながら、その中でも特に、子供たち一人ひとりの個性を大切にしながらの活動に力点を置いてきました。

たとえば、創作活動ではアイロンビーズやブラバン作り、ミシンで小袋を制作し、お菓子づくりなど調理に関する活動も多く取り入れました。視聴覚ではDVD、ビデオ、CD、テレビ、PCでインターネットの動画に夢中になって操作する子どもたちの目はいつも輝いています。ガーデンでは土を掘り起こし、温泉を掘り当てる夢を持って取り組む子どももいました。市内の多くの公園をフル活用し大型遊具でみんなが楽しみました。図書館、プール等々いろいろな社会資源を活用することができました。

子どもたちが活動する場としては、非常に環境に恵まれており、この3年間で約770日の利用日と延べ利用人数は7,603人（日中一時利用は除く）でした。

今、4年目をスタートする中で、利用される子どもたちの増加傾向に歯止めがかからず、利用待機の方々が居られることに、心を痛めています。新規に施設開所もあると聞いていますが解決には至っていません。

23年度の課題としては、個別対応をより必要とする子どもが、さらに増加している中で、一人ひとりの子どもたちが楽しく、情緒を安定させながら興味関心のある活動内容を用意し、本人が主体的に選択し、いろいろな活動に挑戦できる場を、可能な限り作りたいと思います。そのためには、

職員一人ひとりの質の高い療育知識・技能が求められており、これからも一步一步前進していきたいと思います。

どうか今まで同様、保護者の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

管理者 佐々野 久 男

フォア・アスの活動

仁保の道の駅に遊びに行ったよ！！



今日はどんなお菓子ができるかな？



おもちつき会 

